

交差点108号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和7年3月

てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ

内閣府特命担当大臣賞

どんなときも わすれちゃだめだよ みぎひだり

佳作（全日本交通安全協会会長賞）

「令和7年使用交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会・毎日新聞社）【こども部門】より

春の交通安全について保護者の皆さまへ

春の訪れとともに、子どもたちが期待に胸を膨らませる新入学（園）・新学期がやってきます。

屋外で活動する機会も増える季節となりますが、雪解けに伴って車のスピードも出やすくなり、子どもたちが交通事故に遭う危険性が高まる時期でもあります。

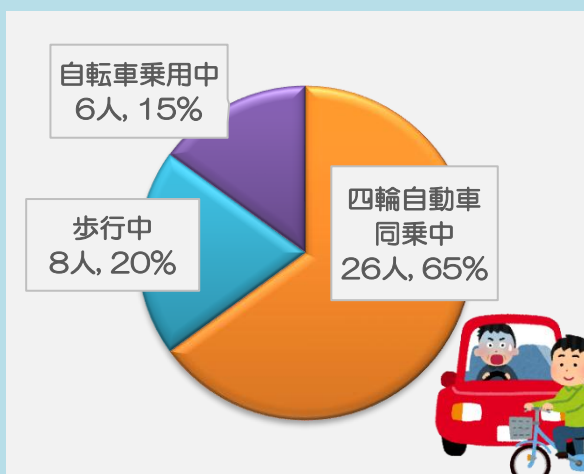
令和6年中の札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故死傷者数は206人。3月から5月にかけての期間には、40人が交通事故により負傷しています。

子どもたちが笑顔で新学期を迎えることができるよう、ぜひ春休み期間中にご家庭で交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

札幌市内における中学生以下の交通事故実態

令和6年1月～12月の死者数	1人（前年比：+1人）
負傷者数	205人（前年比：-31人）
春期間（令和6年3月～5月）の死者数	1人（前年比：+1人）
負傷者数	40人（前年比：-8人）

中学生以下の状態別負傷者数（令和6年3月～5月）



春の交通事故を状態別で見ると、四輪自動車同乗中の負傷者が26人と、全体の約7割を占めました。交通事故から身を守るため、自動車に乗る際は、シートベルトの全席着用を徹底しましょう。

また、道路を渡る時は必ず横断歩道を渡り、ドライバーと視線を合わせるなど、しっかりと安全確認を行いましょ。自転車に乗るときはヘルメットを着用し、スマホなどのながら運転は絶対にやめましょ。

交通安全指導のポイント

- 車の前に飛び出さない、道路や道路のそばで遊ばないように指導しましょう。
- 自転車はルールを守って安全に利用しないと大きな事故につながることをしっかりと伝えましょう。
- 歩道は歩行者が優先です。自転車はスピードを落として、歩行者の安全を守りましょう。
自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用しましょう。
- 道路を渡るときは必ず横断歩道を渡ること、横断する前に周囲をよく確かめることなどを一緒に確認しておきましょう。
- ドライバーから子どもが見えやすくなるよう、明るい色の服装や夜光反射材を身に着けるなど、目立たせる工夫をしましょう。

* * ぜひご活用ください * *

札幌市交通安全運動推進委員会では、毎年市内の学校へランドセルカバーや交通安全啓発冊子をお送りしています。

ランドセルカバー、黄色いワッペン（保険付）、冊子「まもろうね!!一年生」は新入学児童分を小学校へ、冊子「セーフティ自転車ライダーのススメ!」は全生徒分を中学校・高校へ配布しています。



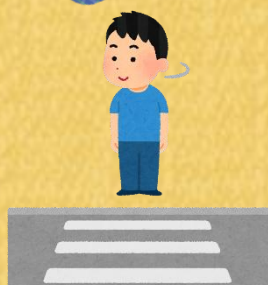
- 歩道が絶対に安全とは限りません。スーパーの駐車場や見通しの悪い道路から出てくる車両など、見えにくいところからの危険にも注意が必要です。
- 道路を渡るときは、ドライバーと目を合わせる、手をあげて合図をするなど、横断する意思をドライバーに伝えましょう。

交通事故にあわないために

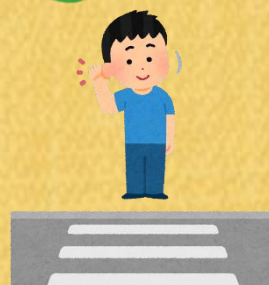
どうろをわたるまえに



くるまがこないか



くるまのおとを



くるまがとおりすぎるまで

